

2011年8月26日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会(ASBJ)と米国財務会計基準審議会(FASB)の代表者は、2011年8月18日と8月19日に、東京で会合を開催いたしました。この会合は、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で第11回目となりました。

FASB と国際会計基準審議会 (IASB) は、米国会計基準と国際財務報告基準(IFRS)の改善及びコンバージェンスを目標とした基準の最終化に向けた議論を活発に行っています。

ASBJ は、日本基準と IFRS とのコンバージェンス・プロジェクトを、FASB と IASB が共同で取り組んでいるプロジェクトの内容を踏まえて行っており、高品質なグローバル会計基準の開発を目指す FASB と IASB の取組みを支持しております。

本会議において、両者は、お互いのプロジェクトの最新状況を確認し、FASB と IASB が取り組む、以下の個別プロジェクトについての意見交換を行いました。

- 金融商品 (FASB と IASB において直近で議論されている金融資産の信用減損モデル、及び FASB において議論が継続されている分類と測定について)
- 収益認識 (FASB と IASB により 2011 年第 3 四半期に公表予定の再公開草案に向けた検討状況について)
- リース (FASB と IASB により 2011 年第 4 四半期に公表予定の再公開草案に向けた検討状況について)
- 保険契約 (保険契約負債の再測定から生じる変動の影響等の会計処理)

両者は、このような継続的な議論により相互理解を深めることは、ASBJ 及び FASB それぞれのボードにおける今後の審議や、改善を図るべき重要な項目に関して IASB とともに進めている高品質な会計基準の開発に寄与するものと考えています。両者は、引き続き、直面する課題や今後想定される懸案事項について意見交換していくことといたしました。

西川郁生 ASBJ 委員長は次のように述べています。

「FASB と IASB による MoU 及び共同プロジェクトに対しては、日本の関係者も高い関心を持っている。FASB と IASB が、共通の基準の最終化に向け検討を行っているこの重要な時期に、

金融商品、収益認識、リース及び保険契約の各テーマについて、FASB の代表者と意見交換できたことは非常に意義のあるものであった。今回の会合における議論が、各基準の最終化プロセスにおける有効なインプットになることを期待している。ASBJ は、高品質のグローバルな会計基準の開発に対して、このような FASB との定期的な会合を含め、今後も引き続き積極的に貢献していく所存である。」

レスリー・サイドマン FASB 議長は次のように述べています。

「ASBJ との継続的な意見交換を通じて、我々は、高品質で、比較可能な会計基準を開発するという、共通の目標に向けた作業において、日本及び米国が直面する問題をより深く理解することができた。今回の議論の結果、我々はこの目標に、一歩近づくことができたと考えている。」

なお、次回の会合は 2012 年第 1 四半期にノーウォークで開催する予定です。

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来米国における財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.fasb.org/> をご参照いただきたい。